

CU三多摩ニュース No.39

2018. 10. 20 編集人 宮本 一
コミュニティユニオン東京三多摩協議会
〒185-0034 国分寺市光町 1-40-12
北多摩西教育会館内
☎Fax 042-571-1166 / 090-2247-1166
Email cu3tama@abeam.ocn.ne.jp

CU 東京 10 周年祝う

1500 人めざす決起集会に参加



CU東京は9月28日、創立10周年を祝い、1,500人の組織をめざす秋の拡大月間の決起集会をラパスホールで開催。高木書記長は「目標は高いが、地域労組だからこそできる条件は広がっている」と訴えました。

集会は組織の12%増を目標に、来年は1500人の組織への到達を築く目標も示されたところ。東京地評の松森事務局長や鷺見顧問弁護士、前澤地評労働相談室長も激励に駆け付け激励。各支部からもそれぞれ拡大に臨む決意が表明されました。

システム三多摩からは、星・尼崎・小野塚副委員長、糀谷執行委員など8人が参加、32人の目標をやり抜く決意を表明しました。組合員の皆様のご支援、ご協力をお願いします。

**介護・がんが認定されたときに補償
労働共済会 / 「介護・がん補償」
さくら保険事務所 へ ☎042-469-7517**

相談事例より

①退職強要の退職金未払い許さず!

D社に勤めるEさんは、昨年12月に所長から「会社の車から携帯に充電した」「無免許で社用車を運転した」などと難癖をつけられ、それを理由に「明日から来るな」といわれ、退職届の提出も強要され、離職票も発行されました。

Eさんは、不本意でしたが退職金は当然出るものと思い、2ヵ月待つも支払いがない為会社に確認すると「やめ方が悪いので100%減額だ」と支払いを拒否されました。そのため労基署に相談、内容証明で請求しつつも支払われず、4月にCU三多摩に相談を寄せました。

組合は、事実上の退職強要であり、有給休暇や残業代未払等の問題もあると考えましたが、Eさん本人の「他のことを今更問題にするつもりはない。退職金だけはきちんと払わせたい。」という強い希望もあり、退職金未払い問題に限り要求することにしました。

粘り強い交渉と闘う姿勢を前面に和解!

団体交渉では冒頭から、組合に対し「反社会的勢力とは関係せずの誓約書署名」を求めるなど挑戦的態度で、裁判も辞さずの構え。

退職金支払いの要求に対して、逆に「賃金返還請求」なる文書を持ち出し、「これを返すと退職金の支給は同時だ」などと法的にも根拠のない勝手な主張をしてきました。

組合は、「返還請求」と「退職金未払い」は別の問題であり、退職金制度が就業規則に明示されている以上、賃金と同様の請求権があるという「退職金の法的性格」を分かりやすく説明。専門家の意見も聞いて回答するよう要求。今後、団体交渉での解決姿勢があるのか確認。その後、3回に渡る交渉の結果、D社が要求金額の8割を支払うということで合意解決しました。

(石川 記)

②保育園パート保育士雇止め問題

一日の勤務時間短縮で合意へ

三多摩地域のA保育園のパート保育士Bさんの契約不更新問題は、2回の団体交渉で解決しました。争点になっていた週の勤務日は4日とし、1日の勤務時間を45分短縮するもので、Bさんの健康状態に配慮した回答として、本人も受け入れると表明。10月から来年3月までの後期の契約に合意し、更新されました。また、来年度の契約更新についても継続すると回答しました。(尼崎 記)

Bさんから感謝のメールが届きました



今日は、組合の皆様にお力を貸してもらい本当に有りがたかったです。組合の皆さんは、真剣に私の話を聞いて下さり、力になっていただき、

私も勇気をもってもう少し頑張ろうと思えました。正直精神的にはしんどかったですが、交渉することができて本当に良かったです。Cさんからの「やってみないとわからないですよ」の言葉に動かされました。職場の環境としては、ここからがスタートだと思っています。一人でも多くの組合員を増やし、運営側との折り合いをつけながら、より良い職場環境にしていきたいと思っています。まずは、3月まで頑張ります。本当にありがとうございました。

組合員交流会への参加を

日時 11月11日(日)15時開会

場所 北多摩西教育会館ホール

CU三多摩は、今年も組合員や多くの仲間の悩み、また寄せられた労働相談の解決などで交流する集いを開きます。日時と会場は下記の通り

です。

この間の相談事例の当事者やこれから団体交渉を行う準備中の仲間も参加します。多くの組合員の皆さんと共に学びあい、励ましあって今後の組合活動を前進させる機会にしたいと思っています。ぜひご参加ください。

米軍基地はいらない！ オスプレイもいらない！



◆福生の市民交流集会に参加◆

10月6日、横田基地近くにある福生市民会館大ホールで、第9回「横田基地もいらない！沖繩とともに声を上げよう！市民交流集会」が行われました。850人が参加者しました。

午後の部のてい談では、オスプレイ情報アナリスト・小柴康男さんの進行で、元外務省国際情報局局長の孫崎享さん、横田基地の撤去を求める西多摩の会の霍田一忠さんの3人が、米軍基地は日本を守るものではないこと、オスプレイの危険性、オスプレイと共に敵地攻撃等をする特殊作戦部隊の本質などを詳しく話されました。そして、地域から運動を起こしていくことや平和をつくっていくことの大事さを訴えられました。

てい談後、集会アピールを採択し、横田基地に向けてデモ行進をしました。(星 記)